

【 会 議 録 】(概要)

日時:平成 20 年 11 月 26 日(水) 18:30 ~ 21:30

会議名	越谷市自治基本条例審議会 第3部会 第13回会議	場所	越谷市役所第二庁舎5階 研修室2
件名 議題	協議事項 (1) 条例素案について		
資料等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無		
出席者	出席委員 樋口部会長、飯島副部会長、池島委員、植竹委員、亀井委員、松本委員、江利川委員(7名) 欠席者 桜井(隆)委員、原田委員(2名) 事務局 立澤企画課長、青山企画課主査、野沢同主任、水口同主事(4名) 支援者: 特定非営利活動法人越谷NPOセンター(1名) 傍聴者 なし		
内 容	別紙 主な意見等のとおり		
合意・決定事項等 ・「行政運営の原則」、「行政評価」、「組織」、「市民の行政への参加」、「意見公募手続き」、「危機管理」及び「住民投票」について検討し、修正した。			

主な意見等

(行政運営の原則について)

- ・この構成でよいと思う。
- ・「財政自治」と「財政運営」との兼ね合いが重要。
- ・(5)について、原則にはいれず、財政運営に移す方が良い。
- ・(6)の表現はそのままが良い。

(行政評価について)

- ・行政評価について、内部評価と第三者機関による評価の表現を入れるべき。
- ・語尾について、「～しなければなりません」ではなく「～します」という表現で良いのではないか。

(組織について)

- ・組織について、「横断的な」は重要。

(市民の行政への参加)

- ・3項は「可能になるよう努めます」とする。
- ・市民の活動支援について、まず、第1部会に提案してはどうか。市と市民との協働と市民の活動支援を一体化して記述できないか。
- ・公共サービスへの参入については、手順など具体的すぎないか。

(意見公募手続について)

- ・採否の結果及び理由を付して公表という部分については、誤解されるおそれがある。意見の概要を公表するなどの表現で良いのではないか。

(危機管理について)

- ・地域住民の日常的な交流は重要。相互の信頼関係の構築が大切。
- ・語尾を強くしたい。

(住民投票について)

- ・常設型と非常設型の違いを明確にすべき。
- ・発議、投票権者をどうするかなど、いろいろな問題がある。
- ・非常設型でハードルを低くすることが良いのではないか。
- ・投票結果の尊重という表現で良いのか。